



ご挨拶

み なさまこんにちは。
住職です。これか

ら皆様のお寺である大光寺、西本願寺の情報をこの紙面を使ってお知らせしていこうと思います。
数年前に大光寺寺報「ひかり」を発刊しておりましたが、忙しさに感
けて休刊しておりました。
今回から不定期発行では
ありますが名称を『かが
やき』と改め、皆様にお
寺の情報や西本願寺の情
報、また、身近な話題に

も触れながら仏教の教え
や浄土真宗の教えに親し
めるような紙面にしたい
と思しますのでよろしく
お願い申し上げます。

**大光寺だよりでは皆様
からの疑問や質問なども
受け付けています。** 日常
の仏事の中で困ったこと
どうしたらいいのかわか
らないことなどがあれば
気軽にご相談ください。
できるだけ紙面を使って
わかりやすくお答えして
いきたいと思えます。

発行
寂静山 大光寺
住職 藤範雅史

さ て、
私は
平成29年11
月に当山大
光寺の住職
を先代から

引き継ぎました。50年以
上続く当寺院の住職を拝
命することは身の引き締
まる思いであります。
また、大光寺の住職であ

るとともに、名古屋にあ
ります教楽寺の代務住職
もさせていただいていま
す。さらに、大阪府堺市
にあります西本願寺の別
院「本願寺堺別院」にも
勤務しています。

通常の生活はこの堺別
院への勤務が主となり、
大光寺・教楽寺のご門徒
の皆様にはお寺での法要

の日時、また、ご法事の
日時でも様々にご配慮を
いただいているのが現状
です。

それなりに忙しい日々
が続きますが、皆様のご
協力がなければ成り立ち
ませんので、今後ともよ
ろしくお願いいたします。



【阿彌陀如来像】

大光寺蔵

悪人正機

作 名手 光明寺
住職 宇多 真海



願いと行い (願行具足)

平 成最後の〇〇。よく聞く言葉になりました。そう、今年で「平成」の元号が改元され5月から新しい元号になります。さあ、新しい元号は何になるのでしょうか。思えば昭和が終わる、元号が「平成」に改元されたとき、『世の中が平和になるように』との

願いが込められてこの元号がついたと聞きます。

浄 土真宗の教え「願行具足」という言葉があります。簡単に言えば何か物事をかなえようとするとときには願うばかりでは物事は叶いませんよ。願いとともにその行いが大切です。

という事です。皆様の周りにもいらっしゃるやいませんか？例えば受験、合格祈願に行くのも結構ですが、祈願ばかりしても希望の学校に受かるわけではありません。毎日の勉強の積み重ねが大切です。祈願だけでは合格できるのではありません。何の苦勞も必要ありませんし、苦勞の知らない人間ばかりになって

しまつては世の中も大変です。親鸞さまは、の救いには、「生きたし生けるもの全てを阿弥陀の世に救い取りたい」という願いと、厳しい行いによってその

姿を私たちがわかりやすく称えやすい「南無阿弥陀仏」ですよと教えてくださいました。願われている私であることに気づかせていただき、お念仏薫る生活を送らせていただきたいものです。



「私たちのちかい」についての親教

私は伝灯奉告法要の初日に「念仏者の生き方」と題して、大智大悲からなる阿弥陀如来のお心をいただいた私たちが、この現実社会でどのように生きていくのかということについて、詳しく述べさせていただきました。このたび「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいという思いから、その肝要を「私たちのちかい」として次の四カ条にまとめました。

私たちのちかい

- 一、自分の殻に閉じこもることなく
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように
- 一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように
- 一、自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように
- 一、生かされていることに気づき
日々に精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会で唱和していただきたいと思っております。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これからも広く伝えていくことが後に続く私たちの使命であることを心に刻み、お念仏申す道を歩んでまいりましょう。

2018（平成30）年11月23日

浄土真宗本願寺派門主 釋專如

平成三十年十一月二十三日西本願寺で勤められた、秋の法要（全国門徒総追悼法要）において、ご門主様から御親教が発布されました。

ご門主さまが全世界に広く発布されるお手紙を「ご親教」（ごしんきょう）といいます。

これは、私たち浄土真宗の門徒が、日常の生活の中で忘れてはいけない、実践しなければならぬことが「私たちのちかい」として端的に示されています。

皆様よくご存じの「浄土真宗の生活信条」に続いて示されました。

仏さまの教えを親の教えとしてしっかりと受け止めたいものです。

報恩講法要修行

平

成30年10月21日
(日) 快晴の中、

当山報恩講を修行いたしました。

報恩講は宗祖親鸞聖人の命日に当たる法要で、私たち浄土真宗の門徒が、宗祖親鸞聖人の恩徳に報いる(感謝する)ためにお勤めします。地域によっては

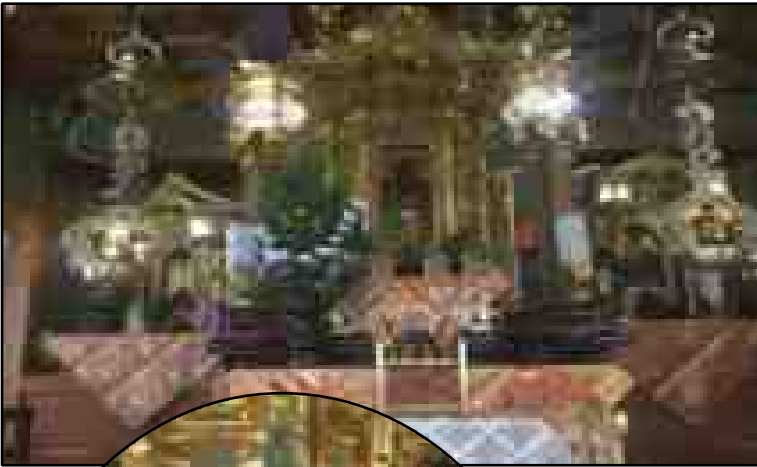
- ・ほんこさん
 - ・ほんこさま
 - ・お取越し
 - ・お七夜
 - ・おひきあげ
- など様々な名称がついています。どの呼び方にも、

敬称が付いていることから、いかに地域で親しまれてきたかが伺えますね。

報

恩講は、浄土真宗というみ教えの大きな特徴を表しています。

「報恩」というのは、恩に報いるという意味です。親鸞聖人のご恩に応えていくという意味です。「講」というのは、集まりという意味です。「報恩講」という



のは、直訳すると「親鸞聖人のご恩に報いる集まり」ということになりま



す。最近、恩という言葉をあまり聞かなくなりました。それだけ、人々の中で、恩という心の働きが鈍くなってしまったということでしょう。

当山においても、この報恩講の参詣者が少ないのが気になるところです。大切な大切な法要です。お寺でも本堂のお飾りを盛大にし、この法要を勤めさせていたいただいておりません。写真は今年の当

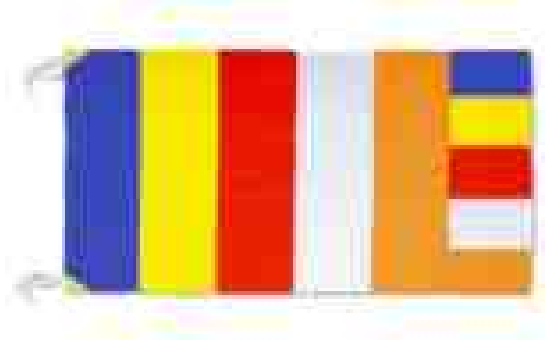
山報恩講の本堂のお飾りです。これで完璧というわけではありませんが、今年はまだ少し盛大に荘厳させていただこうかと思っております。

如

来様や親鸞聖人の深い喜びの中に感謝する集いの場が、浄土真宗のお寺なのです。今年も、多くのお参りをお待ちしております。

仏華！住職が生けました

青	黄	赤	白	橙
を象徴	を象徴	を象徴	を象徴	を象徴
仏の髪の色「定根」	仏の体色「金剛」	仏の血液の色「精進」	仏の歯の色「清浄」	仏の袈裟の色「忍辱」



残

りの1色は「輝き」をあらわし、旗の6列目には独自の色は配されず、他の5色を上から順に並べた縞模様で表現される。

仏旗の由来

ヘンリー・オルコットというアメリカ人によって考案されました。オルコットは神智学協会を創始し、仏教の普及に貢献した人物です。一八八五年に開かれたコロンボ委員会で、仏旗のデザインやサイズなどが決定されました。仏教の象徴とされる旗で、一九五〇年に正式に「国際仏旗」とし

て世界で認められるようになりまし。仏教を信仰していることを示すための旗で、法要などの際に本堂などに掲げて使われます。

仏旗には、仏教への信仰を象徴する役割があります。つまり、仏教の教えを守り、説かれ、伝える場所を示す際に仏旗を掲げます。各宗派の御本山や寺院に掲げられることが多く、仏旗の存在が気になった方もいらっしゃるかもしれません。しばしば見かけるために常に掲げられているように見えますが、仏旗は日常的に使用されるものではありません。

あくまで仏旗は仏教行事が行われている目印であり、日常とは一線を画す特別な日に飾られるものです。そのため、寺院が仏旗を掲げるのは法要をはじめとする行事を執り行うときに限られ、門前や本堂など人目につきやすい場所に飾られます。また、一般家庭でも仏事の際には人などと同様に仏旗を掲げることがあります。

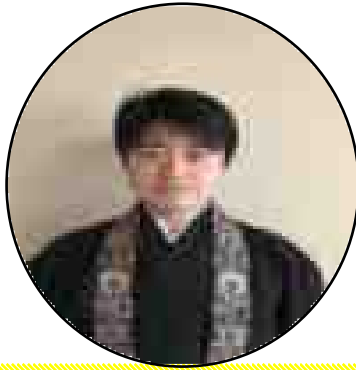
本願寺では法要の際、



本山旗

この仏旗と一緒に紅白で彩った「本山旗」というのも掲げます。国家や宗派の枠を超えて仏教を大切にしたいものです。ご門徒の皆様も仏教徒であるということを誇りに感じていただきたいと思うのです。

こではちよつと一息、仏教・浄土真宗の教えをご紹介します。筆者は住職の京都での学生時代からの友人で、北海道三笠市在住、善行寺の名和康成（なわこうじょう）さんです。



仏様と出会うということ

「仏様って本当にいるの？」
「実際に見たことがないので信じることができません。」
という声を時々耳にすることがあります。百聞は

一見にしかずという言葉があるように、私たちはこの眼で見たものこそ確かであると思いがちです。しかし、仏教は、私の眼ほど頼りないものはないと教えてくださるのです。今年の一月の事でした。私の住んでいる三笠市に、不審者が出たという学校からのお手紙が届きました。

下 校途中の児童数名に、男四人が乗った黒い車が近づいてきて、後部座席に座っていた一人が、窓を全開にし、児童の方を見てにやついて

いたのだそうです。無精ひげに、パーマがかかった頭髪、茶色いサンングラスをしていたという児童の証言が載せられていました。児童達は後ろから来たスクールバスに乗り

込んだので、無事だったとのことでしたが、不審者を目撃した場合、速やかに学校や警察に連絡してください、という注意を促す内容のお手紙でした。我が子に何かあつては大変と、その後数日間お迎えの車が校門の外まで並ぶという事態にま

し かし、その直後に、不審者が判明しました、というお手紙が再び学校から届いたので、バス停の待合所に設置されていた防犯カメラに映っていた不審車両を分析した結果、なんと、それは警察車両だということが

わかったというのです。パトカーだと目立つので、覆面パトカーでパトロー

な、とほえんでいたというのです。私も想像を絶する手紙の内容に、おもうはずっこけてしまいました。

しかし、人間の眼というのは、「あの人が怪しい」と思い込んでしまう

「幽霊の正体見たり、枯れ尾花」とのごとく、先入観や、自分中心の物の見方から離れられない私

「仏様に出会う」ということは、そのような頼りない我が眼で見えて出遇っていないこうとする「眼見（げんけん）」ではなく、



言葉によって出遇っていく「聞見（もんけん）」ということを大切にしながら、と仏教は教えてくださるのです。

人間はどのような言葉に出遇うかによつて、時に人生を左右されることさえあります。この私を育み、支え、豊かな人生を歩んで欲しいと願う仏様（阿弥陀仏）のお心が示されているお経のお言葉を聴聞することが、「仏様に出会う」ということだと教えていた

だくのです。

年に2〜3回はお寺にお参りしましょう

平成最後の！新年号最初の！ご法要のご案内です。私に関係のない法要は1つもありません。どうぞお日にちお時間お繰り合わせの上、そろってご参拝ください。行っていいんですか？と聞いていただけます。どうぞお越しください。悩むくらいならばお越しください。お待ちしております。

法要案内

【元旦会】	正月 1日	午前11時
【春季彼岸会】	3月21日	午後6時30分
【宗祖降誕会】	5月19日	午後2時
【盂蘭盆会】	8月14日	午後3時
【秋季彼岸会】	9月23日	午後7時
【報恩講】	10月27日	午前10時

予定は急遽変更になることがあります。必ず事前にお寺の掲示板で確認を！！

昨年より各地の災害に寄与することを目的として募金箱を設置いたしました。

昨年の募金額は

- ・西日本豪雨災害義援金 ￥7,485円
- ・熊本地震災害義援金 ￥6,375円
- ・大阪北部地震災害義援金 ￥6,360円
- ・台風21号災害義援金 ￥5,200円
- ・北海道胆振東部地震災害義援金 ￥5,170円
- ・東日本大震災復興支援金 ￥6,335円

でした。ご門徒の皆様のご協力に衷心より御礼申し上げます。

なお大阪北部地震災害義援金と西日本豪雨災害義援金の募金については昨年10月31日で終了いたしました。各自治体では引き続き募金活動やボランティアを募集していますので、直接お問い合わせください。

その他の募金は引き続き受け付けておりますので、被災地を忘れることなくご協力をお願い申し上げます。

み

なさんは食事をいただきますか？両手を併せて「いただきます」。まあそうです。私も両親や先生からそう教わりました。

本願寺では【食事のことば】というのがあります。

私たちは食事をいただくとき、何を思い、どのような思いをいただいているのでしょうか



いただいています。

「食」にはへみなさまのおかげがあります。

「食」は仏さまのご恩を喜ぶことができます。

「食」は慚愧と歓喜の心で仏恩報謝につとめましょう。

私

私たちは、食べ物を

いただくことで毎日を過ごしています。この食事には多くの

食事のことば卓上カード、お寺にあります。無償配布ですのでご利用ください

くの方のご苦勞がありました。

阿

彌陀様は、私たちがおかげによつとみなさまのおかげによつて、はじめて生きている

ことができるのだと、明らかにしてくださいました。このご恩を思いお食事を大切にいただきます

ましよう。

お

食事を

いただいた

私たちは

尊いおめ

ぐみを

いただきました。



多くのいのちとお食事を

ご用意してくださった方々

のご苦勞を思い、そのおかげでいのちをいただいています。

まここにいのちある私を、必ず救う

と願い、支えてくださっているのが阿彌陀様です。

このご恩を思い、阿彌陀様の願いに応えようと、精一杯に生きていきたいと思います。

ご祥月法要のお参りについて

住職を継職してから、月忌参り（常逮夜）を休止しております。

祥月命日（故人の正当のご命日）はお参りさせていただきますので、ご希望の方はお寺までご連絡ください。

大光寺 0736-42-3055

